

児童が一生懸命作った料理に自然と会話も弾みます

寄木小(大和田典明校長、児童91人)は11月30日、草 取り活動やもち米・野菜作りなどの学習を手伝って くれた地域の人を招き、収穫感謝祭を開きました。

同祭では、学校の畑で収穫したジャガイモやニン ジンなどが入った豚汁や、5年生が一年掛けて育て たもち米をついて作った餅が振舞われ、総勢約150人 が料理や会話を楽しみました。

同祭の中軽米胤実行委員長(5年)は「地域の人に喜 んでもらえて良かった | と笑みを浮かべました。

練習重ねたダンス披露

Kanaloa Hula Hoike in 2017

市内でフラとタヒチアンダンスの教室を開いてい るKanaloa Hula(カナロアフラ)は12月10日、岩手山 焼走り国際交流村でHoike(ホイケ)を開きました。

ハワイ語で「発表会」を意味するHoikeには、二戸や 葛巻など市外6つの教室からも生徒やその家族ら約 150人が参加。各教室ごとに日々のレッスンの成果を 発表し合いました。今年でケイキ(子ども)クラスを 卒業する髙橋馨乃子さん(寄木小6年)は「練習どお り楽しく踊れました」と充実感をにじませました。



おそろいの衣装で息の合った発表を見せるケイキクラス



児童の多くは正月飾りよりも縄ないに夢中でした

昔の知恵を楽しく体験

正月飾り作り・縄ない体験教室

平舘学童保育クラブを運営する(特非)七時雨いき いきネットワークは11月29日、同クラブで正月飾り作 り・縄ない体験教室を開きました。

児童や職員ら約50人が参加。造花や折り鶴などの 装飾品を思い思いに配置し、オリジナルの正月飾り を作ったり、真剣な表情を浮かべて縄ないに没頭し たりと、普段行わない遊びに夢中な様子でした。

畠山慧大君(2年)は正月飾りを手に「うまくでき た。家に飾って年越しをしたい」と笑顔を見せました。

丁寧な梱包ありがとう

(一社)ドリームプロジェクトクリスマス会

ふるさと納税の返礼品発送業務を請け負う(一社) ドリームプロジェクトは12月7日、同法人八幡平支店 でクリスマス会を開き、日ごろの労をねぎらいました。

当日は岡田久副市長や障害者福祉施設(そよかぜ の家・ポパイの家・ワークサポート蓮華)利用者な ど約20人が参加。返礼品の梱包作業を終えた後、一 緒に食事を楽しみました。

市ふるさと応援寄付金は11月30日現在で2,173件、 寄付額は7.347万円となっています。



岡田副市長と梱包作業をするそよかぜの家の皆さん

座談会の様子は現在作成中の記念誌に掲載予定です

-堂に会し未来を語る

東八幡平病院40周年・希望20周年記念 座談会

(一財)みちのく愛隣協会は12月19日、オーク フィールド八幡平で座談会を開催しました。

東八幡平病院40周年・介護老人保健施設希望20周 年を記念し開かれた座談会では、東八幡平病院・及川 忠人院長、特別養護老人ホーム富士見荘・関口匠子常 務理事、柏台小・吉田千賀子校長ら9人が参加。保 健・医療・介護・教育・行政の分野に携わる職員が一堂 に会し、それぞれが抱える課題、今後の連携方法な ど、地域の将来について語り合いました。

粘土で戌作り楽しいね

寄木小PTA北寄木分会「冬休み行事」

寄木小PTA北寄木分会(髙橋史子会長)は12月25 日、北寄木自治会館で冬休み行事を開催しました。

この行事は地域の人々と触れ合うことを目的に開 催され、児童や保護者ら約30人が参加。陶芸教室では、 陶芸工房・tamari窯の田村麻里さんが講師を務め、新 年の干支・戌の置物を制作しました。

その後、食育の一環として市生活研究グループ連絡 協議会が作ったすいとんなどの郷土料理が用意され、 参加者は地元産の食材を使った料理を堪能しました。



会話を楽しみながら丁寧に戌の形に整えていきます

すなっぷギャラリー



タマサート大学を訪問し、交流事 業の継続などについて話し合いま した(12月15日、タイ王国)



安代漆工技術研究センター修了生 が販売会「エキチカの漆市」を初開 催(12月15日、フェザン地下)



市スポーツ少年団活動発表会で田山スポ少が「戦闘中」を披露 (12月3日、市総合運動公園体育館)



八幡平リゾートパノラマスキー場 &下倉スキー場安全祈願祭(12月 13日、八幡平マウンテンホテル)



が引き渡されました(12月14日、 市役所庁舎前)